

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復実技11							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験			
柔道整復学科・昼間部	3年	3・4期	黄海 匡士	○			
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	柔道整復実技		実技	1	18		
科目概要							
スポーツに関わる柔道整復師として怪我を正しく理解し、そして評価し、的確な治療方針・治療計画をたて基本的治療を行い治療し、復帰に導く方法を修得する							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	様々なスポーツ外傷に対応できる柔道整復師になるために、その役割を理解し、急性外傷の鑑別診断、最適な処置法、および予防法の知識を身につける。						
到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1、スポーツ現場における柔道整復師の役割を理解できるようになる。 2、様々なスポーツ外傷に対する鑑別診断をするための検査ができるようになる。 3、様々なスポーツ外傷に対する最適な処置法、および予防法が理解できるようになる。						
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学、運動学、柔道整復学、柔道整復実技							
教科書・参考書							
柔道整復学、柔道整復学実技編、競技者の外傷予防							
受講上の注意							
不明な点は参考書で学習したり、積極的に質問したりして疑問点を解決すること							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (マニックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合 (%)	実技試験実施要項						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	部位別(頭部)			理論編 P182~190	白衣		
第2回	部位別(頭部)			理論編 P182~191	白衣		
第3回	部位別(胸部)			理論編 P206~210	白衣		
第4回	部位別(胸部)			理論編 P206~211	白衣		
第5回	部位別(腰部)			理論編 P216~219	白衣		
第6回	部位別(腰部)			理論編 P216~220	白衣		
第7回	上肢軟部組織損傷の復習			理論編 P220~350	白衣		
第8回	上肢軟部組織損傷の復習			理論編 P220~351	白衣		
第9回	下肢軟部組織損傷の復習			理論編 P350~457	白衣		
第10回	下肢軟部組織損傷の復習			理論編 P350~458	白衣		
第11回	外傷予防に必要なコンディショニングの方法と実際			競技者の外傷予防 P45~97	白衣		
第12回	水泳における外傷予防と処置			競技者の外傷予防 P102~108	白衣		
第13回	コンタクトスポーツにおける外傷予防と処置			競技者の外傷予防 P97~102	白衣		
第14回	成長期の外傷予防			競技者の外傷予防 P121~124	白衣		
第15回	高齢者の外傷予防			競技者の外傷予防 P125~130	白衣		
第16回	試験				白衣		
第17回	試験				白衣		
第18回	スポーツ柔整まとめ				白衣		
実務経験と本講義との関連について							
北京、ロンドンオリンピック競泳競技帯同トレーナーの経験から、実際の症例を用いてスポーツ柔整実技について講義します							
メールアドレス							